

令和4年度群馬県教育委員会の点検・評価委員会結果概要

1 期 日

第1回 令和4年6月14日（火）13:30～15:30

第2回 令和4年7月 8日（金）13:30～15:30

2 場 所

県庁舎24階 教育委員会会議室

3 審議事項

- (1) 令和4年度 教育委員会の点検・評価（令和3年度対象）の進め方
- (2) 令和4年度 教育委員会の点検・評価に係る各所属の自己評価に対する意見について

4 委員の主な意見

別紙『令和4年度点検・評価委員会（第1回、第2回）における主な意見と対応について』のとおり

5 結論

委員の意見に基づき、自己点検・評価案を修正し、教育委員協議会での協議、教育委員会会議での決定を経て、県議会へ提出・公表した。

令和4年度点検・評価委員会(第1回、第2回)における主な意見と対応について

基本施策1		
点検・評価委員 意見要旨	報告書掲載方法	第1回又は第2回
消費者教育について、実践的なロールプレイや県が作成したweb教材・動画教材を通じて、生徒自らが自分事として具体的に考える機会を提供できている。	評価できる点	第1回
文化芸術教育に関して、特に古代東国文化や本県の文化遺産等を活用した学びを推進するための教材が充実しており、子どもだけでなく大人も楽しみながら学ぶことができる環境が整備されている。	評価できる点	第1回
公立中学校における生徒の英語力について、CEFRのA1レベル相当以上の3年生の割合が全国平均を大きく上回っており、本県における外国語教育が充実しつつある。	評価できる点	第1回
主権者教育について、中立性に配慮しつつ、新聞記事等を活用するなどして具体的な題材を用いた教育活動を推進し、若者の政治への関心を高めるとともに、投票率の向上に結びつけることが必要である。	課題	第1回
高等学校における生徒の英語力について、CEFRのA2レベル相当以上の3年生の割合が全国平均を2ポイントほど下回っている。	課題	第1回
基本施策2		
点検・評価委員 意見要旨	報告書掲載方法	第1回又は第2回
本県における情報モラル教育は非常に進んでおり、ストーリー仕立ての動画教材や、オープンエンドのweb教材を活用する等、積極的な取組がなされている。	評価できる点	第1回
ICT活用に係る指導用資料について、教員がより具体的なイメージを持って授業で活用できるよう、掲載内容を工夫するとよい。	課題	第1回
ICT活用について、積極的な活用が期待される若手教員への支援と併せて、教職課程に在籍する学生も学べるような機会があるとよい。	課題	第1回
基本施策3		
点検・評価委員 意見要旨	報告書掲載方法	第1回又は第2回
「いじめの正確な認知」が求められる現代において、本県では、小さないじめも見逃さないだけでなく、いじめを防止する取組についても適切に行われている。	評価できる点	第1回
「ボランティア活動の充実」に係る取組が少ないと感じる。より積極的に実施すべきである。	課題	第1回
『「児童生徒は、授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている」と回答した学校の割合』について、全国平均を上回るものの、コロナ禍で協働的な学習を行う機会が減少したことも要因と思われるが、数値が伸び悩んでいる。今後も引き続き、児童生徒の主体性を育む教育に注力していく必要がある。	課題	第1回
基本施策4		
点検・評価委員 意見要旨	報告書掲載方法	第1回又は第2回
食育に関連して、朝食の摂取が子どもの発達に重要であるところ、摂取率が非常に高く、効果的な取組を行うことができている。	評価できる点	第1回
校内食物アレルギー対策委員会は効果的に機能しており、各学校が児童生徒一人一人の状況に応じた適切なアレルギー対策を行っている。	評価できる点	第1回
生活習慣等の改善に向けては、各学校で作成している「体力向上プラン」に基づき取組を進めているが、今後、家庭等との連携を密にしていく必要がある。	課題	第1回
基本施策5		
点検・評価委員 意見要旨	報告書掲載方法	第1回又は第2回
教職員の退職者数が他県と比べて非常に少なく、学校や人事のマネジメントによる職場環境の改善に加え、教職員間の協力や助け合いにより、退職を未然に防ぐことができている。	評価できる点	第2回
各種教育相談に教員と専門家が連携して対応する「チーム学校」の取組は、教員の相談技術の向上につながり、有意義である。	評価できる点	第2回

オンラインによる教員研修について、参加者同士の意見交換が難しい等の課題があるため、実施方法を工夫しつつ、十分に効果的な研修を行うために、講師の技術向上を図っていく必要がある。	課題	第2回
総労働時間の短縮の観点からも、教員の定型的な業務でRPAを導入するなど、業務を自動化、効率化する取組を行うとよい。	課題	第2回
特別支援学校教諭免許状の取得率については上昇傾向にあるものの、急速に学校を整備したことも一因となって全国平均を下回っており、改善の余地がある。	課題	第2回
基本施策 6		
点検・評価委員 意見要旨	報告書掲載方法	第1回又は第2回
貧困対策の取組は重要であり、今後も取組を継続してほしい。	評価できる点	第2回
通学時のヘルメット着用について、高校生が主体的に着用促進に取り組む活動などを行い、啓発を推進している。	評価できる点	第2回
高校生の自転車事故発生件数が全国で最も多くなっており、県全体で総合的な対策が必要である。	課題	第2回
基本施策 7		
点検・評価委員 意見要旨	報告書掲載方法	第1回又は第2回
過去に地域の方から教わる体験をした若い世代が、ボランティアとして学校の活動に協力するという事例も出てきており、長期的なスパンで学校と地域の連携による成果が現れている。	評価できる点	第2回
家庭の教育力向上のために、様々な機会を通じて、多様な保護者に学習の機会を提供するなど、支援を行っていくことが必要である。	課題	第2回
基本施策 8		
点検・評価委員 意見要旨	報告書掲載方法	第1回又は第2回
県立図書館による相互貸借や図書館未設置町村への支援は、利用者から好評を得られており、県立図書館の存在価値を高めている。	評価できる点	第2回
社会教育施設について、子どもたちをはじめとする利用者のニーズを踏まえ、前例にとらわれない柔軟な発想により、整備や活用方法を検討していくべきである。	課題	第2回
教育イノベーションプロジェクト		
点検・評価委員 意見要旨	報告書掲載方法	第1回又は第2回
教育DXの推進について、DX推進コーディネーターの導入、情報モラル教育の充実等が図られ、全国的に見ても先進的な取組が行われている。	意見	第1回
STEAM教育を取り入れ、教科横断的に知性・感性を育む教育がなされていることは、児童生徒にとって有意義である。	意見	第1回
指標「ICT活用した授業をほぼ毎日行っている教員」について、小中ともに全国平均を下回っており、課題である。	意見	第1回
教育委員会全体の取組		
点検・評価委員 意見要旨	報告書掲載方法	第1回又は第2回
県教育委員会全体で、多岐にわたる各目標の達成に向けて、着実に取組を進められている。	評価できる点	第2回
各事業について、過年度の課題に応じ、次年度の取組を柔軟に変えていくことが必要である。	課題	第2回
教育振興基本計画に掲げる目標を絞る、計画期間を短期にするなどの工夫により、教育委員会全体として業務を精選し、集中的に取り組む事業を明確にしてはどうか。	課題	第2回
教員が大量退職する時期を迎えており、より一層効果的に再任用制度を運用し、ベテラン教員の能力を最大限に生かせるよう工夫していく必要がある。	課題	第2回